

## 【石内分団が地域コミュニティに参加し、防火・防災指導を行いました！】

令和4年11月27日（日）に五月が丘学区防災訓練が行われました。  
小・中・大学生も参加して、指定避難所の運営において救護テントの設営や段ボールベットの作成を体験し、大学生は災害発生時に自分達が行う自助についての「防災クイズ」を披露しました。

消防団は地元の佐伯消防団石内分団が参加して、地域住民に避難を促す巡回広報と安全管理、消火訓練指導及び車両展示を行いました。

災害発生時には、消防団は様々な役割を担っており、災害現場での消火をはじめ、地震や風水害といった大規模災害発生時の救助・救出、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎょなど様々な現場で活躍しなくてはなりません。

多様な職業に従事している団員ならではの技術や知識を生かすことが可能であることからリーダーシップを取り、自主防災組織や住民に対する訓練指導、防災知識の普及啓発活動も行い、地域の実情に即した活動を行っています。

### 【五月が丘学区防災訓練会場】





【五月が丘学区防災士会の皆さん】



【来賓席】

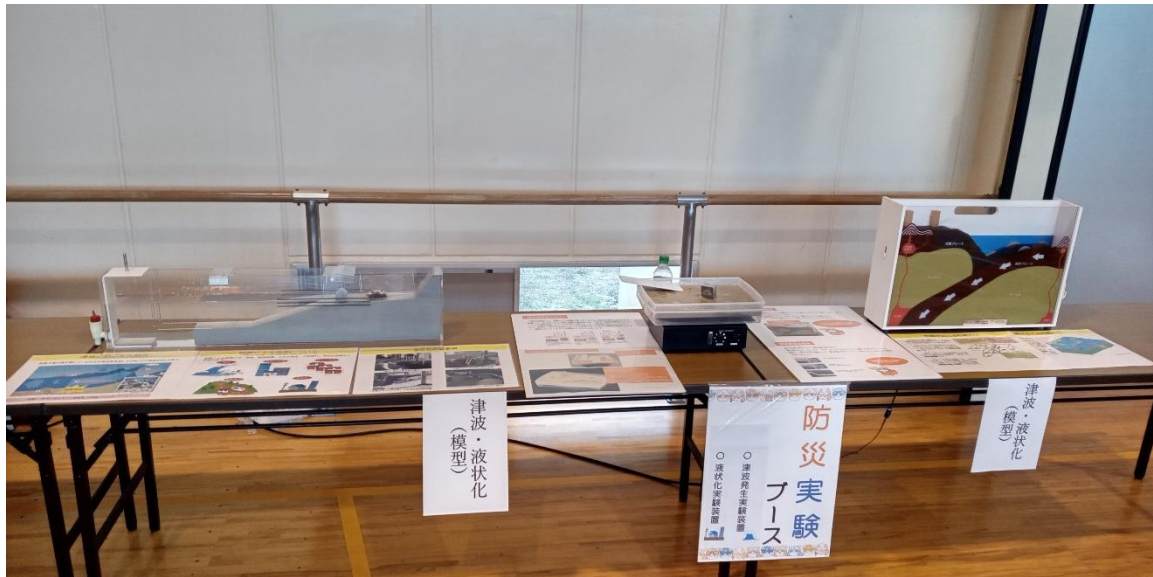


【住民参集状況】





【地震セットブース 地震の仕組み・津波・液状化】防災センター借用



【予防課ブース】



【佐伯消防団石内分団 巡回広報に出動】







【住民への防火指導 消火器の取扱いについて説明】





【車両展示風景】



【住民参集状況】





【段ボールベット、エアーマットで仮救護所を作成】



【患者隔離テント】



【飲料水兼用の耐震性防火水槽】



【広島市消防局マスコットキャラクター もみみん】

